

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 9月 6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472700297		
法人名	医療法人みやうち		
事業所名	グループホームひまわり		
所在地	廿日市市宮内字佐原田4209番地の2 (電話) 0829-306071		
自己評価作成日	平成24年7月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kiho_n=true&amp;JigyosyoCd=3472700297-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kiho_n=true&amp;JigyosyoCd=3472700297-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年8月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

昨年暮れに当ホームのアイドルが介助犬としての役割も立派に務め、14歳で旅立ち寂しくなりました。彼女も貢献してくれた家族様と一体感のある施設運営をと、年1回の大家族会、また少人数で色々な方が顔を合わせられるように2ヶ月に1度（2回）小さな会を開催しています。回を重ねるうちに今では家族様同志の関係も密になり、会の中で励まし合い・喜び合いと家族間で支え合える関係も出来るようになっていきます。今後も継続し、より本人の思いに添える援助へと繋げて行きたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

・管理者と職員は事業の社会的意義と責任を深く認識し、礼節と尊厳を持って利用者に接している。また、利用者および家族との間に相互信頼と互助の精神によって良好な関係を形成し、利用者が長期にわたり安心かつ快適に暮らせる共同生活の場として機能している。  
・ホームは開設から約14年が経過し利用者の高齢化、重度化が進んできている。主治医や法人内の機能と連携し、ターミナルケアにも前向きに取り組んでいる。これらの経験は、職員に使命感や仕事への意欲によい影響を及ぼし、結果的に実践に対する厳しい自己評価と、自らのチームに課題を課し、質の高いケアを目指す集団へと成長させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝申し送りの前、日勤者でグループホームの理念を唱和し、確認し合い安心できる場所を心掛けている。	全職員が話し合っって作り上げた理念をホーム内に掲載し、その理念を実践していくための指針となるものを掲げ、実践されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や玄関先での日光浴の際、近所の方々との交流や、ボランティアの方の歌や習字など定期的な訪問により交流がある。	地域のボランティアを受け入れたり、買い物などに出かけた際には近隣の人達と挨拶を交わすなどしながら、交流を深めている。 また、多くの家族が来訪されており、家族が積極的に他の利用者と交流を図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2ヶ月に1回の運営推進会議にて地域の方々の理解を求めたり、地域のスーパーへの買い物等で顔見知りになってもらう。また学生の実習を受け入れ、家族会で実践を伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議でホームでの行事や日常生活等の写真、またホームの新聞で報告し意見を求めている。そこでの意見を職員に行き渡るように伝え、勉強会やカンファにて話し合いに活かしている。	運営推進会議は定期的開催されており、会議で出された意見はホームの運営に活かされ、サービス向上に繋がられている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議で市の担当者の方へ出席して頂き、ホームでの実践を報告し、また近隣の様子も聞いている。市の相談員の訪問もあり、関係は繋がっている。	運営推進会議等を通じて、市の担当者や管轄の地域包括支援センターと常日頃から緊密な連絡を取り合いながら、事業の状況を把握してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の研修を定期的な受け、勉強会をしている。日中玄関・裏口の施錠はしておらず自由に出入りしている。17時以降日勤の職員が帰る時には閉めている。</p>	<p>身体拘束についての研修を重ねることにより、職員一人ひとりが理解を深め、身体拘束をしない介護の方法を話し合い実践されている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全職員での勉強会で高齢者虐待について学びあっている。日頃より入居者様の身体の小さな傷なども見過ごさないようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会で制度について取り入れたり、必要な時は相談員が関わる為、連携がとれ活用出来るようになってきている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ホーム長・相談員により十分な説明が行われている。ミニ家族会等でも疑問点がないかを尋ね、説明も再々行なっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情箱の設置もあり、定期的にミニ家族会や運営推進会議を開き、話が出る場を設けている。法人の委員会の家族へのアンケートによる結果等を、全体で把握でき話し合いをし改善を目指している</p>	<p>家族が安心して気軽に訪問ができる環境と人間関係が作られており、日頃から多くの家族との繋がりのもとで、意見等を自由に出し合いながら、運営に反映し、サービス向上に繋げている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンス等の時間で意見を出し、法人の場で提案し話し合いが出来ている。	会議や勉強会は可能な限り全員参加で行い、参加できない時には事前に意見を聞いたり、会議録を回覧して周知を図り、出た意見を運営に反映し、サービス向上に繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	給与体制は、人事考課によって決められており、個々の努力や実績が給与に反映されている。個々の能力向上により組織全体のレベルアップを目指している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内の研修は月1回行われている。法人外の研修に参加した時はカンファレンスにて他の職員に報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の親睦界などで他部署との交流が図られている。また月1回ホーム長会議を通して他のグループホームとの情報交換を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居するにあたり訪問により御家族や御本人の要望を聴き、また日頃の生活でのコミュニケーションにより関係を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の話し合いや面会時の御家族の言葉をしっかり受け止めている。2ヶ月に1回ミニ家族会を開催し信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居時の暫定プランを元に御本人と御家族が現在何を求めているかを1番に考えたサービスを提供できるように対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食事や外出を共にし、一人ひとりにあった対応し、何事も一緒に生活をしている関係を作っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	担当者会議や面会時、御本人の気持ちを伝える事で一緒に考え御家族と職員が一体となり本人を支えていけるように、常に話し合えるような関係を作っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	知人との面会・電話等途切れないように努めている。また以前行っておられた公園等馴染みの場所に行くようにしている。	誰もが気軽に訪問でき、利用者とともに居心地良く過ごせる雰囲気作りのもとで、友人や知人とゆっくと過ごしてもらい、つながりを大切にした支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士での交流が出来るように外のベンチや食事の準備等の場で関わりがあり支えあっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も御家族の訪問があり話を聴いたりまた、ミニ家族会で体験談を話してもらっている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	フェイスシートで情報を得たり、御本人や御家族と話をして把握している。	日頃から一人ひとりと向き合い、生活歴を把握するよう努められている。また、面会時の家族や知人との会話から情報を得て、カンファレンス等で職員全員で検討されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御本人や御家族に聞いたり、フェイスシートや暮らしの情報シートを活用し把握出来るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	行動記録や心身の情報シートに記入し、またカンファレンスで情報交換し把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>御本人や御家族の希望を聞きカンファレンスにてケアプランを作成し、それを元にサービス担当者会議を開き、本人や家族と共に現状にあったケアプランを作成している。</p>	<p>利用者や家族との日々の関わりや、定期的に行う面接の中で意見や要望を聞きケアプランに反映させている。 3ヶ月ごとの見直しと柔軟なプランの変更・追加を行ってね家族にも詳細に説明をしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランに沿った内容を行動記録に記入している。またカンファレンスノートにて職員間で情報の共有が出来ている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要に応じて適したサービスが提供出来るように他職種の方々に相談したりと連携がとれている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの訪問や併設施設の利用など地域資源を活用し、楽しめるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>併設病院で受診しており、必要があれば他の病院に受診するよう適切な対応が出来ている。</p>	<p>かかりつけ医は基本的に母体の医療機関となっているが、希望がある場合はこれまで通りの受診ができ情報提供もできるように支援されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>ほぼ毎日看護師の訪問により情報や気づきを相談しており、併設病院に定期的または異常時受診している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院は併設病院が多い為、情報交換や相談が素早く行え、日頃より関係者を食事に呼ぶなどし利用者様の把握の為の関係作りを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>安心して終期を迎えられるよう早い段階から入居者様やご家族様と話し合い意向を踏まえ医師と連携し支援している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時対応マニュアルを整備し、職員は応急手当等の研修に参加や、職員間で勉強に取り入れ訓練をしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>ホーム内で入居者様も一緒に月1回防災訓練を行っており、特に夜勤者は防災センターの研修に参加している。年に1回は消防署の立会いでの訓練も行っている。</p>	<p>法人内において災害対策体制が設置されており、マニュアルや緊急連絡網を整備し、避難訓練を定期的に行っている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	守秘義務やプライバシーを守り一人ひとりの人格を尊重した言葉づかいや対応するよ うに気をつけている。	利用者一人ひとりの違いを尊重し、さりげない介助、言葉かけ、本人にとっての現実を否定しない等の配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	おやつや食事の希望・入浴時間・外出等の時間等自分で決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床時間など状態の把握に努め一人ひとりのペースに合わせ、職員の都合で苦痛にならなうように希望に沿い楽しめるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人の希望を聞きながら洋服選びや髪型など、その人らしくおしゃれが出来るように買い物、美容院含め支援している」。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜をつぶしたり、揚げ物が苦手な方には違うものをお出ししたりして一人ひとりに合った食事を提供している。配膳や片づけを一緒にしている。	利用者の好みを聞きながら、献立を決めたり、季節ごとの食材を使ったり、行事ごとの食事、弁当を利用者と職員が同じテーブルについて楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりに合った食事量や栄養バランスを考え，おやつ・入浴後やその他必要に応じて水分補給にも気をつけている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>ご自分で出来る方は声かけし，難しい方は出来るところまでして頂き，介助している</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>パターンの把握に努め自立出来るように声掛けや出来ない所を介助との支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを把握し，車いすからたてる人や座位を保てる人はできるだけ，トイレで排泄してもらられるよう，自立に向けた支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>ヨーグルトや野菜ジュースなど繊維質の物を摂って頂いたり下剤で調整している。出来る範囲で体を動かしたり散歩をしたりする。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>声掛けの仕方やタイミングを考え，入浴して頂いている。拒否のある時は無理に言わず時間をおいたり，翌日に誘ったりしている。入浴時間は朝から夜まで希望のある時に応じている。</p>	<p>午前・午後いつでも入浴可能となっており，入浴は個別に行い，ゆっくり安心して入浴できるように配慮されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>体調や生活習慣に合わせて声掛けを行い、気持ちよく休んで頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>カードックスに一人ひとりの薬と内容などの表を綴じ常に職員間で確認できるようにしている。臨時薬などの処方があるときはそのつど記入している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの生活歴や能力に応じピアノを弾いたりサラシタタミ・折り紙・食事の準備・片付け等、気分転換をして頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>玄関から自由に入出入りして頂き、好きな時に目なたに当たられる様に個人の思いに合わせている。また買い物やドライブ・花見・野球観戦等好まれる場所に外出している。</p>	<p>天気の良い日にはできるだけホームの中から外に出たり、併設の事業所の行事に参加するなどしながら、気分転換等を図っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個々の希望や力に応じ、ご本人に管理して頂いたり、職員が管理し、買い物時にはご自分で使え満足できるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ホーム内の公衆電話より自由にして頂き、また要望があれば職員からご家族に伝えたり手紙を一緒に書いてもらうなどご本人の希望に沿い援助している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関外の休めるベンチでは外の風景が眺められ季節を感じる事が出来き窓の開閉により肌で季節を感じてもらっている。また電気や湿度・テレビの音量の調整等心地よく過ごせるように配慮している。	リビングの窓からは畑や季節の移ろいを感じられる木立が見え、季節感や生活感が感じられる。採光や温度にも配慮している。移動にも十分な空間がとっており、安心して過ごせる場所となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間にてご自分の思い通りに気兼ねすることなく過ごせるよう、畳やソファ・玄関先のベンチ等スペースの工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居心地よく過ごして頂けるようご本人ご家族と相談しながら使い慣れたものを生活レベルに合わせ怪我のない様に配慮している。	自宅で使われていた物を持ち込んでもらい、自宅で暮らしてした時と同じような居室環境を作り、安心して過ごしてもらえるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレの場所や自室等混乱せず自立した生活が出来るよう表札や貼り紙で目印をし、安全な環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝職員で唱和し、その方に合った生活を送って頂くよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ボランティアの方の訪問、散歩や外出などで地域の方との交流が出来るように努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	研修に参加している。人材育成の貢献として実習生の受け入れを行っている。又家族会で理解や支援の方法を話している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	実施状況などを報告し要望・助言を受け、職員間で話し合いサービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	2ヶ月に1回運営推進会議を開き市の職員へ活動内容など報告し情報を共有し課題解決を図っている。市の相談員の定期的訪問時、連絡を密に取り協力を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>安全に安心して生活して頂けるように努めている。17時以降は階段の使用はなるべく避けてもらうようにはしているがエレベーター使用で自由に行き来き出来るようになってきている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修に参加し学んだ事を他職員に報告するようにしている。また日頃から見過ごされる事のないよう注意を払っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在必要な方はいないが、以前居られた時話し合いは出来ていた。相談員との連携を図り活用できている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ホーム長・相談員により十分な説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ミニ家族会や運営推進会議を定期的に行ったり、意見ボックスを設置している。それらを職員間で共有し反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンス等で意見を出し合っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課により個々の努力や実績が給与に反映されている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外の研修に参加し、カンファレンス等で報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内他部署との交流が親睦会等で図られている。他グループホームとも月1回のホーム長会議で情報交換の場を持ち他職員へ発信して質の向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前面接を実施しご家族と本人様の要望を聞いている。信頼関係が築けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面接や入居時によく話を聴いている・2ヶ月に1回ミニ家族会を行いコミュニケーションを図っている。又担当者会議でも十分話し合い信頼関係を深めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居時の暫定プランを元に、今最も必要とされているサービスを提供出来るように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>1日の生活の中で食事作りや洗濯干しなど家事を共にしたりとその人その人に合った生活に寄り添いながら関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時や電話にてその時々に合わせて共に考えたり相談をし、関係を築いてい9る。。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>手紙を書かれ出されたり電話などで関係が途切れないように努めている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	孤立しないように個性を大切にし、関わりを持てる場を共有して頂いている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退去後も関係を大切にし、その後訪問あり話を聴いたり相談も受けている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	心身の情報シートに思いや暮らし方の希望を記入し、意向の把握に努めている。本人の立場に立ってカンファレンスで話し合っている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	これまでの生活環境などは家族からの情報やご本人から聞き把握している。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	1日の過ごし方、心身の状態は把握しており残存機能を大切にしている。変化のある時はカンファレンス等で話し合い全員が把握出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	サービス担当者会議を開き、ご本人・ご家族の希望を聞き、職員全員で話し合いご本人が安心して穏かに生活できるケアプランを作成している。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	ケアプランに沿ったケアの実施状況や評価を記入し情報を共有し変化があればすみやかに見直し次のプランへ繋げている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	その時のニーズに適したサービスが提供出来るように他職種と相談し取り組んでいる。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	ボランティアの方の訪問もあり、また併設施設を利用もあり地域資源を活用している。（公共の場、美容院、スーパー等）		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	併設の病院の受診時には付き添いご本人の状態を正確に主治医に報告し適切な医療を受けてもらっている。必要あれば他の病院に受診してもらうように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>ほぼ毎日看護師の訪問あり。情報や気づきを相談し適切な援助対応が出来ている。異常がある時は併設の病院に受診している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院は併設病院が多く、日頃より日々の受診により情報交換は適切に行えている。日頃より関係者を呼び食事を共にしたり利用者様を少しでも把握してもらえるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>早い段階から担当医・家族・職員と話し合いを行い、本人や家族の意向を伺い安心して納得して終末期を迎えられるように取り組んでいる。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>定期的に研修に参加したり、緊急時対応についてマニュアルがあり、ホーム内でも研修を行い再認識している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>月1回防災訓練を行っており、入居者様も参加している。消防署立会の元での訓練も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとり、その人に合った声かけを行って、プライバシーを守り対応に気をつけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	飲食や入浴したい時間など自分で決定出来る様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床時間や昼間の過ごし方など、その人のペースを大切に希望に沿って過ごしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	常に整容に気をつけ服装も本人の希望を聞きながら着てもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	その人が出来る事を考え、それに合わせた食事の準備や片づけをしてもらっている。職員も一緒に食事し団らんしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	一人ひとりに合った食事量で食べやすいようミキサー食やキザミ食と盛り付けの工夫している。栄養バランスや水分量の確保にも努めている。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	食後の歯磨きや入れ歯の洗浄の声かけを行い，出来ない方には介助で行っている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	排泄パターンの把握に努めている。体調不良によりオムツ使用となった方も状態改善に伴いその時のじょうたいでのパターンを把握し，トイレでの排泄やパンツ使用までの支援も行っている。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	便秘にならないよう細めな水分補給や食物繊維を取り入れる等食事のバランスに気をつけている。便秘時には下剤で対応している。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	希望があれば本人の状態に合わせた上で夜間なども入浴してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>個々の生活習慣に合わせて休んでもらい就寝時間などは決めず安眠できる支援を行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>一人ひとりの薬の状況をカードックスに入れ、職員間で把握している。症状や状態の変化を察知し変化を医師に報告している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の趣味や特技を把握し生活内に取り入れ音楽や家事を行っていただき気分転換をして頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日中は玄関を常に開放し何時でも自由に日向ぼっこや風に当たる事が出来るようにしいつでも一緒に散歩できるようにしている。本人の希望を家人に伝え、一緒に出かけられている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金の管理が出来ない為、パン屋の訪問時にはお金を渡し購入してもらったりとお小遣いとしてこちらが預かり何時でも使えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望がある時にはお手伝いしながら電話したり手紙が来たときには返事が書けるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自室のドアに手作りの季節の飾り物を飾り、花を飾ったり窓を開けると山や空が見られ季節感を感じられるように働きかけている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食卓や居間のソファの他、畳やエレベーター前のソファなど何時でも気軽に過ごせる場所を設けている。自由に日向ぼっこや歌を歌われている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家での生活習慣を聞き使い慣れたものを使ってもらったり、危険のないように配慮し居心地よく過ごせるように工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自室の表札やお風呂や便所を分かりやすく目線に合わせて表記し、自分の意思で迷わず行動している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない



階			◎少しずつ増えている ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	

## 2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

## 2階

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひまわり

作成日 平成 24年9月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の避難方法を全職員が把握する	様々な災害時に入居者様がスムーズに避難出来るよう身につける	定期的に行っている防災訓練で、火災だけではなく地震や水害も想定した訓練を行う	6か月
2	13	職員を育てる取り組み	危険を予知する力をつける	危険予知訓練、研修への参加、勉強会を行う	6か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。